

国勢調査の主な仕事と所要時間

(令和2年国勢調査調査員Sさんの場合 4調査区204世帯担当 報酬約14万円)

8月下旬の平日	説明会に出席(1時間 ^{※1})
8月下旬の土曜	説明会資料復習(1時間)
9月上旬の土日	担当地域の確認(1調査区当たり約1時間)
9月中旬の土曜	担当地域の資料作成、市役所に提出(約1時間)
9月下旬の土日	担当地域内のすべての世帯に調査書類を配布(1調査区当たり約1時間 ^{※2})
9月下旬の平日夜間	担当地域内の一部の世帯に追加で調査票を配布(1時間)
10月初旬の土曜	担当地域内のすべての世帯に回答喚起のチラシを配布(1調査区当たり約1時間)
10月上旬の土日	担当調査地域の調査書類を回収(1調査区当たり約20分 ^{※3})
10月中旬の平日夜間	担当調査区域内の調査未回答世帯に督促のチラシを配布(1調査区当たり約30分)
10月中旬の土日	回収した調査書類の審査(1調査区当たり約20分 ^{※3})
10月下旬の平日	回収した調査書類を市役所に提出(約1時間 ^{※4})

※1 令和2年はコロナ禍のため、時間短縮で説明会を開催。令和7年は2時間の予定。

※2 令和2年はコロナ禍のため、ポスティングにより調査票を配布。令和7年は原則対面により調査票を配布予定。令和7年は不在世帯への再訪問もあることから1調査区当たり2～4時間目安。

※3 令和2年はコロナ禍のため、調査世帯は原則オンライン回答か郵送回答につき、調査員による回収は少なかった。調査世帯がオンライン回答または郵送による回答の場合は、調査員による回収や審査が不要。

※4 回収した調査票が少ないため、調査書類の審査が少なく、市役所に提出する書類の確認を受ける時間も少なかった。